

ティーンエイジャーに別れを告げるから、20代への覚悟が生まれる。

「ティーンエイジャー」という言葉をご存知ですか。

ティーンエイジャーとは、13歳から19歳までの年齢を指す言葉です。

英単語の語尾が「teen」で終わることから、そう呼ばれています。

セブンティーン、エイティーン、ナインティーンなどです。

大学時代は、10代から20代に切り替わる、大事な時期です。

ティーンエイジャーとのお別れを、経験します。

ティーンエイジャーが終われば、学生とはいえ、もう立派な大人です。

10代と20代では、響きが違います。

自分では子供のつもりでも、世間からは、もう大人として見られる年ごろです。

体つきは成熟し、酒もタバコも、堂々と楽しめるようになります。

大学時代は、ティーンエイジャーと別れを告げる儀式を、きちんとしておきましょう。

区切りは、きちんとつけたほうがいいです。

「20代として」「大人として」の自覚を持つためです。

地元で成人式があれば、ぜひ出席しましょう。

堅苦しい成人式ですが、心の区切りをつけるために、大きな意味があります。

親しい仲間同士で、大きな宴会を開くのもいいでしょう。

酒を飲めば「大人になった」という実感も得られやすくなります。

私の場合は、20歳の誕生日の早朝、1人で海に行きました。

波の音を聞きながら「ついにティーンエイジャーが終わった。今日から20代だ」と、唇を噛み締めたものです。

大切なことは、きちんとした区切りをつけることです。



ティーンエイジャーに別れを告げるから、20代への覚悟が生まれます。

ついに、人生で最も激動の20代が、始まったのです。

大学生がしておきたいこと その24

ティーンエイジャーに別れを告げる区切りを、つける。